

## こんな身近に戦争があったんだ バスで行く 市内の戦跡めぐりに 36 名

市内の戦跡めぐり(1/22)では、市内7ヶ所を見学し、秋川の戦争を語りつぐ会の清水浩さん、横沢入の戦争遺跡調査報告者の唐沢慶行さんが現地で解説してくださいました。「青い目の人形」の話は、戦前の教育とマスコミの恐ろしさを痛感しました。



列車空襲現場(五日市線多摩川鉄橋): 終戦直前の7月28日、米軍機の襲撃で3名が即死した。



爆弾投下場所(油平): 炸裂した爆弾で森田さんが死亡。



学童疎開児童が機銃掃射で死亡した海老沢寮跡(引田): 7月28日、米軍機の銃弾が麦わら屋根を貫いて小学5年生の頭を吹き飛ばした。他に3名が負傷した。約40名が宿泊していた。



秋川市戦没者慰霊碑(中央公民館南側)には太平洋戦争で戦死した三四六名他の名が刻んである。



引田の陸軍倉庫跡(左)と 横沢入の地下壕跡と戦車橋(右): 純農村地帯でも、こうした軍用施設とその付近が攻撃目標となったといわれる。

「青い目の人形」(戸倉小): 昭和2年米国から小学校に贈られた約12000体もの友好の人形は、終戦間近には「敵」として火あぶりや竹槍で突かれた。上級生の命令で人形を踏みつけた体験を持つ清水さんの話を重く受け止めた。戸倉小で隠された人形が発見されたのは35年以上後のことであった。現在残っている人形はわずかに300体ほどである。



参加者の手紙から: 一言お礼が言いたくペンを取りました。清水先生の「のりちゃん」というお話ではとても身近に感じ、その時代、その様子がすぐ浮かび、驚き、胸をつき、自分の今ある平和は多くの人々の悲しみのもとにあるのだと思いました。(中略)今回参加して一番思った事はこの事実をきちんと伝えることが大切と思いました。「メディア・新聞」のあり方についても考えさせられました。(日野市 Uさん)

速報

# あきる野9条の会 発足1周年記念

憲法9条を守る力を広く大きく

## パワーアップ イベント

開催決  
まる!

日時: 5月13日(土)午後  
会場: 秋川キララホール

講演: 郡山 総一郎さん(フォトジャーナリスト)

「戦争の国の子どもたち(仮題)」

イラクやパキスタン、パレスチナ、タイなどで撮った写真をスライドで写しながら、戦争や貧困の中で暮らす人々や子どもたちの現状と郡山さんの思いをお話ししていただく予定です。



経歴: 1971年宮崎県生まれ。2001年、写真取材を開始。翌年「イスラエルの現実」と題した写真でよみうり写真大賞奨励賞を受賞し、『週刊朝日』『サンデー毎日』などの雑誌で写真が使われるようになる。2004年4月、イラク取材中に拘束され9日後に解放された。著書に『人質 イラク人質事件の嘘と実』(共著、ポプラ社)、「未来って何ですか/ぼくが一番撮りたかったもの」・「戦争の後の来たもの/カンボジアが映す時代」新日本出版社

この他の出演者やイベントの詳細は  
検討中です。決まり次第ご案内します。

# 賛同署名を増やすために あなたのお力をお貸してください

## 賛同カードつきチラシを 同封しました。



私たちの会も発足して9ヶ月を経過しました。現在の賛同者は445名、呼びかけ人は228名と大きく前進しましたが、改憲の動きが強まるなかで飛躍的に広げる必要があります。1周年には記念イベント(左にご案内)を開催し、更なるステップアップを目指します。ご家族やお知り合いの方に賛同署名をお勧めください。どうぞよろしくお祈りいたします。

**ご報告** 呼びかけ人の松永秀夫さん(草花)が1月にお亡くなりになりました。71歳でした。ここからご冥福をお祈り申し上げます。

**サポーター会のお知らせ** 定例は毎月第2土曜日、市役所ロビーで午前10時30分から12時までです。サポーターをお受けいただける方ご参加ください。

なお、定例事務局会は毎月第1土曜日、市役所ロビー、11時から12時の間に行なっています。



ステッカーを作りました

ご自宅や車の目立つところに張りましょう。なお、このステッカーのファイル(PDF)をメールなどでお送りしますので、ご自宅のプリンターで印刷し

普及していただければ幸いです。事務局へご連絡ください。